

「審判請求書」作成見本
補正却下決定不服審判:意匠
弁理士が代理人の場合

【書類名】 審判請求書
（【提出日】 令和〇〇年〇〇月〇〇日）
【あて先】 特許庁長官 殿

【審判事件の表示】

【出願番号】 意願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇
【審判の種別】 補正却下決定不服審判事件

【審判請求人】

【識別番号】 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
【氏名又は名称】 意匠 太郎

【代理人】

【識別番号】 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
【弁理士】
【氏名又は名称】 意匠 一郎

（【電話番号】 1 2 3 4 － 5 6 7 8）

（【ファクシミリ番号】 1 2 3 5 － 6 7 8 9）

【選任した代理人】

【識別番号】 1 9 0 0 0 1 2 3 5
【弁理士】
【氏名又は名称】 意匠 二郎
【電話番号】 0 3 － 3 5 8 1 － 1 1 0 1

【連絡先】 担当

【手数料の表示】

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 〇 〇 〇 〇 〇 〇
【納付金額】 5 5 0 0 〇

【請求の趣旨】 意願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇について、令和〇〇年〇〇月〇〇日付でした補正に対して、令和〇〇年〇〇月〇〇日になした補正の却下の決定を取り消す。との審決を求める。

【請求の理由】

(1) 手続の経緯

.....

(2) 決定の理由の要点

.....

(3) 本願意匠の説明と補正の説明

.....

(4) 要旨変更に係る争点の説明

本願については.....理由により意匠登録されるべきである。

(5) 補正の根拠及び要旨の変更でない旨の説明

.....

(6) むすび

.....

【証拠方法】 証拠として.....

【提出物件の目録】

【包括委任状番号】 ○○○○○○

「審判請求書」作成見本
補正却下決定不服審判:意匠
弁理士法人が代理人の場合

【書類名】 審判請求書
（【提出日】 令和〇〇年〇〇月〇〇日）
【あて先】 特許庁長官 殿

【審判事件の表示】

【出願番号】 意願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇〇
【審判の種別】 補正却下決定不服審判事件

【審判請求人】

【識別番号】 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
【氏名又は名称】 意匠 太郎

【代理人】

【識別番号】 1 9 0 0 0 1 2 3 4
【氏名又は名称】 弁理士法人 パテント国際特許事務所
【代表者】 意匠 一郎
【電話番号】 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1

【連絡先】 担当は弁理士 意匠 二郎

【手数料の表示】

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 〇 〇 〇 〇 〇 〇
【納付金額】 5 5 0 0 〇

【請求の趣旨】 意願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇〇について、令和〇〇年〇〇月〇〇日付でした補正に対して、令和〇〇年〇〇月〇〇日になした補正の却下の決定を取り消す。との審決を求める。

【請求の理由】

(1) 手続の経緯

.....

(2) 決定の理由の要点

.....

(3) 本願意匠の説明と補正の説明

.....

(4) 要旨変更に係る争点の説明

本願については.....理由により意匠登録されるべきである。

(5) 補正の根拠及び要旨の変更でない旨の説明

.....

(6) むすび

.....

【証拠方法】 証拠として.....

【提出物件の目録】

【包括委任状番号】 ○○○○○○